



## 令和6年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

令和6年5月10日

上場会社名 株式会社ナガホリ 上場取引所 東  
 コード番号 8139 URL <https://www.nagahori.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長堀 慶太  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吾郷 雅文 TEL 03-3832-8266  
 定時株主総会開催予定日 令和6年6月27日 配当支払開始予定日 令和6年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 令和6年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和6年3月期の連結業績（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期	21,820	23.5	1,022	86.8	998	85.7	519	755.5
5年3月期	17,673	4.4	547	89.9	537	112.5	60	△62.9

(注) 包括利益 6年3月期 673百万円 (575.4%) 5年3月期 99百万円 (△41.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
6年3月期	33.91	—	4.2	4.0	4.7
5年3月期	3.96	—	0.5	2.2	3.1

(参考) 持分法投資損益 6年3月期 ー百万円 5年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年3月期	25,474	12,724	50.0	829.78
5年3月期	24,174	12,128	50.2	790.87

(参考) 自己資本 6年3月期 12,724百万円 5年3月期 12,128百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
6年3月期	△515	△531	413	2,871
5年3月期	△20	47	△52	3,500

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
5年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	76	126.3	0.6
6年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00	199	38.3	1.6
7年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		38.3	

### 3. 令和7年3月期の連結業績予想（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,500	△0.4	360	△16.2	330	△22.7	170	△11.6	11.09
通期	21,000	△3.8	800	△21.7	720	△27.9	400	△23.1	26.08

## ※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

6年3月期	16,773,376株	5年3月期	16,773,376株
6年3月期	1,438,307株	5年3月期	1,438,016株
6年3月期	15,335,154株	5年3月期	15,335,398株

## (参考) 個別業績の概要

令和6年3月期の個別業績（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期	10,518	22.3	279	63.8	559	26.7	256	401.6
5年3月期	8,599	9.6	170	—	441	529.4	51	18.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期	16.73	—
5年3月期	3.34	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
6年3月期	20,328		11,483		56.5	748.82		
5年3月期	19,800		11,153		56.3	727.28		

(参考) 自己資本 6年3月期 11,483百万円 5年3月期 11,153百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
(6) 重要事象等について	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の解除とともに、感染法上の位置づけも5類に移行されたことで、景気回復への動きが進んでいます。しかしながら、国内物価の高止まりや国内外の金融政策、為替変動の影響への懸念、ウクライナ情勢、中東地域を巡る地政学的リスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ジュエリー業界におきましても、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されたことで個人消費は持ち直しの動きがみられました。一方、円安や、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化等のジュエリー商品への影響など、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、富裕層マーケットをコアとする販売チャネルや商品ブランドに重点的に経営資源を投下する「選択と集中」の方針のもと、自社催事や顧客催事等の販売活動に取り組みました。「メゾン ド ナディア」の銀座の路面店や「スカヴィア」の帝国ホテル東京本館1階店舗での営業展開とともに、商品力強化のための広告宣伝、新たに名古屋地区の百貨店店舗事業への出店等、販売増に取り組みました。また、財務の安定のため当座貸越契約を継続しつつ、販売増につながる商品仕入や販売催事の積極展開等への支出により販売強化を図りました。もう一方で、金製品の需要拡大のなか、小判のヒット商品に恵まれたことや旺盛な海外需要への対応、グループ内での販売商品製造強化、地金製品販売や小売店舗販売などのグループ子会社各社の販売展開においても好調に推移しました。

この結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は218億20百万円（前年同期比23.5%増加）、営業利益は10億22百万円（同86.8%増加）、経常利益は9億98百万円（同85.7%増加）と予想を上回る黒字を確保しましたが、リ・ジェネレーション株式会社その他の複数の株主らが、ほぼ同時期に当社株式を急速かつ大量に買い集めている状況を踏まえた緊急対応及び関連する株主対応等に係るアドバイザー費用2億69百万円を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益5億19百万円（同755.5%増加）となりました。

セグメント別に見ますと、宝飾事業におきましては売上高は216億91百万円（前年同期比23.6%増加）、セグメント利益9億38百万円（同100.0%増加）となりました。貸ビル事業におきましては売上高（外部顧客）は79百万円（同1.5%減少）、セグメント利益59百万円（同1.3%増加）となりました。太陽光発電事業の売上高は49百万円（同12.9%増加）、セグメント利益24百万円（同25.3%増加）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産の部)

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億円増加し、254億74百万円となりました。

流動資産は10億38百万円増加し、182億60百万円になりました。これは主に、受取手形及び売掛金が2億57百万円及び商品及び製品が7億58百万円増加したことによるものであります。

固定資産は2億61百万円増加し、72億13百万円になりました。これは主に、有形固定資産が41百万円及び投資有価証券が2億19百万円増加したことによるものであります。

#### (負債の部)

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億3百万円増加し、127億49百万円となりました。

流動負債は8億61百万円増加し、114億15百万円になりました。これは主に、短期借入金が7億31百万円及び未払法人税等が1億9百万円増加したことによるものであります。

固定負債は1億58百万円減少し、13億34百万円になりました。これは主に、長期借入金が2億15百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産の部)

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億96百万円増加し、127億24百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益5億19百万円及び剰余金の配当76百万円によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、短期借入金の増加による収入や税金等調整前当期純利益7億4百万円（前年同期1億80百万円の利益）等の増加要因とともに、長期借入金の返済や固定資産の取得による支出等による減少要因があったことにより、前連結会計年度末に比べ6億29百万円減少し、28億71百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は5億15百万円（前期は20百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益7億4百万円及び減価償却費1億91百万円等の収入があった一方、棚卸資産の増加額9億37百万円、売上債権の増加額2億56百万円及び法人税等の支払額73百万円等の支出があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は5億31百万円（前期は47百万円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億87百万円及び事業譲受による支出3億19百万円等の支出があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は4億13百万円（前期は52百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純増額7億31百万円の収入があった一方、長期借入金の返済2億15百万円等の支出があったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
自己資本比率 (%)	51.0	50.7	50.5	50.2	50.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	10.7	11.1	34.7	68.2	87.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	13.2	10.3	14.1	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	7.9	10.4	8.1	—	—

(注) 1. 各指標の算出方法は次のとおりであります。

- ・自己資本比率：自己資本/総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

2. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により計算しております。

4. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。

5. 有利子負債は、連結貸借対照表上に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としており、また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

6. 令和5年3月期及び令和6年3月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」及び「インタレスト・カバレッジ・レシオ」につきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため表示しておりません。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は沈静化したものの、インフレ動向やウクライナ情勢、中東地域を巡る地政学的なリスクへの懸念等、先行きの不透明な状況が続いており、予断を許さない経営環境が続くものと思われま

す。この様な状況を踏まえ、百貨店等の富裕層向け商品の充実を図るとともに、ナガホリグループ販売商品の内製化や事業提携先との取引深耕の推進による収益力の強化を図ってまいります。また、自社ブランド商品の販売促進や直営店による販売、宣伝活動やOEM (Original Equipment Manufacturing) 販売の強化とともに、販管費等の効率化による収益力向上に取り組んでまいります。

以上により、次期令和7年3月期の通期連結業績につきましては、中期経営計画に掲げた目標をほぼ達成となる、売上高210億円、営業利益8億円、経常利益7億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4億円を予想しております。

(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

当社は、株主に対し安定した配当を継続して行うことを配当の基本方針としつつ、配当性向40%を目安としております。当期も、リ・ジェネレーション株式会社その他の複数の株主らが、ほぼ同時期に当社株式を急速かつ大量に買い集めている状況を踏まえた緊急対応及び関連する対応等に係るアドバイザー費用の支出がありました

が、連結当期純利益の実績に基づき、期末配当として1株当たり13円を実施する予定であります。尚、次期の配当につきましては、配当性向40%を目安として期末配当を、1株当たり10円を予定して

(6) 重要事象等について

該当事項はございません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当連結会計年度 (令和6年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,500,798	2,871,016
受取手形及び売掛金	2,803,036	3,060,516
商品及び製品	9,534,092	10,293,031
仕掛品	285,969	296,077
原材料及び貯蔵品	846,532	1,314,233
その他	268,264	444,754
貸倒引当金	△16,302	△18,652
流動資産合計	17,222,392	18,260,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,346,591	1,364,342
機械装置及び運搬具(純額)	151,391	148,107
土地	3,276,198	3,276,198
その他(純額)	229,100	256,140
有形固定資産合計	5,003,282	5,044,789
無形固定資産	37,618	46,163
投資その他の資産		
投資有価証券	1,086,907	1,306,338
長期貸付金	19,581	19,491
繰延税金資産	122,574	120,900
その他	894,730	887,620
貸倒引当金	△212,906	△212,050
投資その他の資産合計	1,910,887	2,122,300
固定資産合計	6,951,788	7,213,253
資産合計	24,174,180	25,474,230

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当連結会計年度 (令和6年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	871,499	841,873
短期借入金	8,788,750	9,520,000
1年内返済予定の長期借入金	115,504	115,504
未払法人税等	64,872	174,442
賞与引当金	55,659	86,061
役員賞与引当金	4,200	14,200
その他	653,112	663,340
流動負債合計	10,553,598	11,415,421
固定負債		
長期借入金	447,376	231,872
退職給付に係る負債	620,263	608,920
役員退職慰労引当金	157,917	171,166
繰延税金負債	25,970	92,989
再評価に係る繰延税金負債	48,841	48,841
その他	191,888	180,350
固定負債合計	1,492,257	1,334,140
負債合計	12,045,855	12,749,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,323,965	5,323,965
資本剰余金	6,275,173	6,275,173
利益剰余金	1,648,348	2,091,644
自己株式	△481,568	△481,909
株主資本合計	12,765,920	13,208,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,845	210,699
土地再評価差額金	△712,196	△712,196
為替換算調整勘定	15,755	17,290
その他の包括利益累計額合計	△637,595	△484,206
純資産合計	12,128,324	12,724,668
負債純資産合計	24,174,180	25,474,230



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)
売上高	17,673,563	21,820,464
売上原価	12,967,069	16,047,002
売上総利益	4,706,494	5,773,461
販売費及び一般管理費	4,159,255	4,751,259
営業利益	547,239	1,022,202
営業外収益		
受取利息	145	94
受取配当金	19,066	20,008
投資事業組合運用益	5,456	11,882
為替差益	7,169	5,181
保険返戻金	27,892	6,784
その他	15,207	19,751
営業外収益合計	74,937	63,703
営業外費用		
支払利息	82,554	83,959
その他	1,753	3,385
営業外費用合計	84,308	87,345
経常利益	537,868	998,561
特別利益		
固定資産処分益	18,165	3,522
助成金収入	13,869	—
特別利益合計	32,035	3,522
特別損失		
固定資産処分損	2,356	1,602
投資有価証券評価損	2,908	1,972
減損損失	14,739	—
新型コロナウイルス対応による損失	11,367	—
アドバイザー費用	357,773	269,408
その他	—	24,259
特別損失合計	389,145	297,242
税金等調整前当期純利益	180,758	704,841
法人税、住民税及び事業税	114,336	183,195
法人税等調整額	5,644	1,674
法人税等合計	119,981	184,869
当期純利益	60,777	519,972
親会社株主に帰属する当期純利益	60,777	519,972

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)
当期純利益	60,777	519,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,547	151,854
為替換算調整勘定	366	1,534
その他の包括利益合計	38,914	153,389
包括利益	99,691	673,361
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	99,691	673,361
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,323,965	6,275,173	1,638,874	△481,433	12,756,580
当期変動額					
剰余金の配当			△30,671		△30,671
親会社株主に帰属する当期純利益			60,777		60,777
自己株式の取得				△134	△134
土地再評価差額金の取崩			△20,632		△20,632
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	9,473	△134	9,339
当期末残高	5,323,965	6,275,173	1,648,348	△481,568	12,765,920

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	20,297	△732,828	15,389	△697,142	12,059,438
当期変動額					
剰余金の配当					△30,671
親会社株主に帰属する当期純利益					60,777
自己株式の取得					△134
土地再評価差額金の取崩					△20,632
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	38,547	20,632	366	59,546	59,546
当期変動額合計	38,547	20,632	366	59,546	68,885
当期末残高	58,845	△712,196	15,755	△637,595	12,128,324

当連結会計年度(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,323,965	6,275,173	1,648,348	△481,568	12,765,920
当期変動額					
剰余金の配当			△76,676		△76,676
親会社株主に帰属する当期純利益			519,972		519,972
自己株式の取得				△341	△341
土地再評価差額金の取崩			—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	443,295	△341	442,954
当期末残高	5,323,965	6,275,173	2,091,644	△481,909	13,208,874

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	58,845	△712,196	15,755	△637,595	12,128,324
当期変動額					
剰余金の配当					△76,676
親会社株主に帰属する当期純利益					519,972
自己株式の取得					△341
土地再評価差額金の取崩					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	151,854	—	1,534	153,389	153,389
当期変動額合計	151,854	—	1,534	153,389	596,343
当期末残高	210,699	△712,196	17,290	△484,206	12,724,668

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	180,758	704,841
減価償却費	187,033	191,472
のれん償却額	—	500
投資有価証券評価損益(△は益)	2,908	1,972
減損損失	14,739	—
固定資産処分損益(△は益)	△15,809	△1,920
新型コロナウイルス対応による損失	11,367	—
アドバイザー費用	357,773	269,408
助成金収入	△13,869	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,871	1,493
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△67,344	13,249
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△22,794	△11,343
受取利息及び受取配当金	△19,211	△20,103
支払利息	82,554	83,959
売上債権の増減額(△は増加)	△216,729	△256,320
棚卸資産の増減額(△は増加)	△288,601	△937,126
仕入債務の増減額(△は減少)	84,763	△33,429
その他	34,900	△69,584
小計	310,569	△62,930
利息及び配当金の受取額	19,211	20,103
利息の支払額	△82,529	△85,386
法人税等の支払額	△122,252	△73,629
助成金の受取額	35,326	475
新型コロナウイルス対応による損失の支払額	△11,367	—
アドバイザー費用の支払額	△169,692	△313,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,735	△515,298
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△43,500	△187,938
有形固定資産の売却による収入	48,506	12,260
無形固定資産の取得による支出	△22,851	△20,868
投資有価証券の取得による支出	△11,375	△3,020
差入保証金の回収による収入	75,186	15,858
保険積立金の積立による支出	△36,594	△41,373
保険積立金の払戻による収入	109,741	26,268
事業譲受による支出	—	△319,849
その他	△71,350	△12,429
投資活動によるキャッシュ・フロー	47,763	△531,092
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	118,750	731,250
長期借入金の返済による支出	△115,504	△215,504
リース債務の返済による支出	△24,995	△25,525
自己株式の取得による支出	△134	△341
配当金の支払額	△31,075	△76,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,959	413,097
現金及び現金同等物に係る換算差額	403	3,511
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25,528	△629,782
現金及び現金同等物の期首残高	3,526,326	3,500,798
現金及び現金同等物の期末残高	3,500,798	2,871,016

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループ各社は、主に宝飾品を製造及び販売しております。当社グループは、事業の性質により、宝飾品を製造及び販売する「宝飾事業」と保有不動産の賃貸を行う「貸ビル事業」及び売電を行う「太陽光発電事業」を報告セグメントの単位としております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成の方法と同一であります。

また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部売上高又は振替高等は市場価格等に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	宝飾事業	貸ビル事業	太陽光発電事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	17,548,743	—	—	17,548,743	—	17,548,743
一定の期間にわたり移転される財	—	—	43,737	43,737	—	43,737
顧客との契約から生じる収益	17,548,743	—	43,737	17,592,481	—	17,592,481
その他の収益	—	81,082	—	81,082	—	81,082
外部顧客への売上高	17,548,743	81,082	43,737	17,673,563	—	17,673,563
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	12,588	—	12,588	△12,588	—
計	17,548,743	93,670	43,737	17,686,152	△12,588	17,673,563
セグメント利益	469,299	58,502	19,437	547,239	—	547,239
セグメント資産	21,190,463	1,515,904	162,538	22,868,905	1,305,275	24,174,180
その他の項目						
減価償却費	148,062	17,824	21,146	187,033	—	187,033
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	72,235	—	—	72,235	—	72,235

(注) 1. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント資産の調整額1,305,275千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

当連結会計年度(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	宝飾事業	貸ビル事業	太陽光発電事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	21,691,240	—	—	21,691,240	—	21,691,240
一定の期間にわたり移転される財	—	—	49,360	49,360	—	49,360
顧客との契約から生じる収益	21,691,240	—	49,360	21,740,600	—	21,740,600
その他の収益	—	79,863	—	79,863	—	79,863
外部顧客への売上高	21,691,240	79,863	49,360	21,820,464	—	21,820,464
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	12,588	—	12,588	△12,588	—
計	21,691,240	92,452	49,360	21,833,053	△12,588	21,820,464
セグメント利益	938,571	59,281	24,349	1,022,202	—	1,022,202
セグメント資産	22,522,673	1,501,525	144,756	24,168,955	1,305,275	25,474,230
その他の項目						
減価償却費	154,376	15,913	21,182	191,472	—	191,472
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	250,965	1,400	—	252,365	—	252,365

(注) 1. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント資産の調整額1,305,275千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。



## 【関連情報】

前連結会計年度(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社 ドン・キホーテ(注)	1,763,683	宝飾事業
株式会社 そごう・西武	1,395,571	宝飾事業
株式会社 ヴァンドームヤマダ	1,373,097	宝飾事業
株式会社 高島屋	873,040	宝飾事業

(注) 当社子会社エスジェイジュエリー株式会社の顧客であります。

当連結会計年度(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	合計
19,159,743	2,660,721	21,820,464

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社 ドン・キホーテ(注)	2,373,318	宝飾事業
株式会社 そごう・西武	1,318,418	宝飾事業
株式会社 ヴァンドームヤマダ	1,438,149	宝飾事業
株式会社 高島屋	964,882	宝飾事業

(注) 当社子会社エスジェイジュエリー株式会社の顧客であります。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)  
宝飾事業において、減損損失14,739千円です。

当連結会計年度(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)  
該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)  
該当事項はありません。

当連結会計年度(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)  
宝飾事業において、のれんの償却額500千円、未償却残高2,500千円です。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)  
該当事項はありません。

当連結会計年度(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)  
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)		当連結会計年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)	
1株当たり純資産額	790円87銭	1株当たり純資産額	829円78銭
1株当たり当期純利益	3円96銭	1株当たり当期純利益	33円91銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	60,777	519,972
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	60,777	519,972
期中平均株式数(株)	15,335,398	15,335,154

(重要な後発事象)

該当事項はありません。